

1.	③	11.	④	21.	②	31.	④	41.	④
2.	②	12.	④	22.	②	32.	①	42.	③
3.	②	13.	①	23.	②	33.	④	43.	①
4.	①	14.	③	24.	④	34.	③	44.	③
5.	①	15.	④	25.	①	35.	②	45.	②
6.	①	16.	①	26.	③	36.	②	46.	③
7.	④	17.	①	27.	①	37.	④	47.	④
8.	④	18.	①	28.	③	38.	②	48.	②
9.	④	19.	①	29.	②	39.	④	49.	③
10.	①	20.	③	30.	④	40.	④	50.	①

1.

解答 ③

【解説】

正解は③「at that time」です。「I was a high school student in 2010. At that time, I didn't have a smartphone.」(2010年、私は高校生でした。当時は、スマートフォンを持っていませんでした)。①は現在の瞬間、②は同時に、④は最初は、を意味します。

◆補足：現在を指す反対語は at this time です。

2.

解答 ②

【解説】

正解は②「～の隣に」です。「next」は「次の」という意味の単語ですが、「next to ～」の形で「～の隣に」という場所を表す前置詞句(群前置詞)になります。問題文は「郵便局は銀行の隣にあります」という意味です。①「～の向かいに」は across from ～、③「～の前に」は in front of ～、④「～の後ろに」は behind ～ と表現します。

◆補足：道案内をするときなどによく使われる表現ですね。「The next station is Shibuya.」(次の駅は渋谷です)のように、単独で「次の」という意味で使うことももちろん多いです。

3.

解答 ②

【解説】

正解は②「volunteer」です。「Many volunteers helped to clean the park.」（たくさんのボランティアが公園をきれいにするのに手伝った。）①「visitor」は「訪問者」、③「member」は「一員」、④「partner」は「パートナー、仲間」です。

◆補足：volunteer は動詞として「(自発的に) ~する、申し出る」という意味でも使われます。また、「ボランティア活動」は volunteer work や volunteer activities と言います。

4.

解答 ①

【解説】

正解は①「とにかく、いずれにしても」です。副詞「anyway」は、他の事実にもかかわらずある陳述が真実であることを示すため、または話題を変えるために使われます。例えば、「It was raining, but I went out anyway.」（雨が降っていたけれど、とにかく私は出かけました）。②「どんな道でも」は any way です。③「いつでも」は anytime、④「どこでも」は anywhere です。

◆補足：「Thanks anyway.」は便利な表現です。誰かが助けようとしてくれたがうまくいかなかったときに使います。（結果はともかく）とにかくありがとう、という感謝の気持ちを表します。

5.

解答 ①

【解説】

正解は①「ago」です。副詞の「ago」は、必ず「期間を表す言葉」の後ろに置いて、「今から～前に」という意味を表します。過去形と一緒に使うのがルールです。問題文は「私は3年前に京都を訪れました」という意味になります。②「before」も「～前に」ですが、単独で使ったり、過去のある時点より前のことを示すときに使います。③「last」は「この前の」、④「next」は「次の」という意味で、last week や next year のように使います。

◆補足：ago を使った表現は日常会話で非常によく使われます。例えば、a long time ago（ずっと昔に）、a few days ago（数日前に）、ten minutes ago（10分前に）など、色々な期間の言葉と組み合わせることができます。

6.

解答 ①

【解説】

正解は①「(声を出して) 笑う」です。「Everyone laughed at his joke.」（みんなが彼の冗談に笑った。）②「ほほえむ」は声を出さない smile を使います。③「泣く」は cry、④「叫ぶ」は shout です。

◆補足：laugh at ～で「～を見て（聞いて）笑う」という意味ですが、時には「～をあざ笑う」という否定的な意味になることもあるので注意が必要です。

7.

解答 ④

【解説】

正解は④「shopping mall」です。単に「mall」と言うことも多いです。①「department store」は「デパート、百貨店」のことで、一つの会社が経営する一つの大きな店舗です。②「convenience store」は「コンビニエンスストア」、③「grocery store」は主に「食料品店」を指します。

◆補足：アメリカなどでは、郊外にある巨大なショッピングモールが人々の憩いの場になっています。日本では、イオンモールのような施設がこれにあたりますね。

8.

解答 ④

【解説】

正解は④「upset」です。「She was upset about the news.」（彼女はその知らせに動揺していた）のように使います。①「quiet」は「静かな」、②「calm」は「穏やかな」、③「happy」は「幸せな」という意味です。

◆補足：upset は動詞としても使え、「(人の気持ち)を動揺させる」や「(計画など)をひっくり返す」という意味になります。過去形、過去分詞形も upset のまま変化しません。

9.

解答 ④

【解説】

正解は④「何百もの～」です。ここでのポイントは hundred が複数形であることです。例えば、「There were hundreds of people at the concert.」（コンサートには何百人もの人々がいた）。①「100の～」は one hundred...となります。

◆補足：このパターンは他の数字でも使えます：thousands of（何千もの）、millions of（何百万もの）。

10.

解答 ①

【解説】

正解は①「フランスの、フランス人 (の)、フランス語 (の)」です。「French」は国 France に関連する言葉です。例えば、French food (フランス料理)、the French language (フランス語)、または the French people (フランス国民)。②は fresh、③は friend's、④は front です。

◆補足：国は France です。覚えておきましょう：France (国)、French (形容詞/言語/人々)。

11.

解答 ④

【解説】

正解は④「案内人、ガイド」です。「guide」は、特に観光客のグループに道を示す人です。例えば、「Our tour guide was very knowledgeable.」(私たちのツアーガイドはとても博識でした)。①「警備員」は guard、②「客」は guest、③「神」は god です。

◆補足：guide は動詞としても使われ、「案内する」を意味します。例：「He guided us through the museum.」(彼は私たちを博物館の中を案内してくれた)。「ガイドブック」は a guidebook です。

12.

解答 ④

【解説】

正解は④の usual です。I met him at the usual place. (私はいつもの場所で彼に会った) のように使います。①special は「特別な」で、usual とは反対のニュアンスを持ちます。②same は「同じ」、③useful は「役に立つ」という意味です。

◆補足：as usual という形で「いつも通り」という副詞句として非常によく使われます。She came to school late as usual. (彼女はいつも通り学校に遅刻してきた)。副詞の usually (たいてい、ふつう) も頻度を表す重要な単語なので、合わせて覚えておきましょう。

13.

解答 ①

【解説】

正解は①「A を B と名付ける」です。動詞の「name」は「～に名前をつける」という意味があり、「name A B」の形で「A (人やペットなど) を B (名前) と名付ける」という使い方をします。問題文は「彼らは自分たちの赤ちゃんを花子と名付けた」という意味です。②「A を B と呼ぶ」は call A B が一般的です。③、④は全く意味の異なる動詞です。

◆補足：be named after ～ の形で、「～にちなんで名付けられる」という受け身の表現もよく使われます。例：He was named after his grandfather. (彼はおじいさんにちなんで名付けられました)。

14.

解答 ③

【解説】

正解は③「invent」です。「Thomas Edison invented the light bulb.」（トーマス・エジソンは電球を発明した）。①「invite」は誰かをどこかへ招待すること、②「invest」はお金を何かに投資して利益を得ること、④「involve」は誰かを含んだり影響を与えたりすることです。

◆補足：名詞形は invention（発明）です。物を発明する人は inventor（発明家）です。

15.

解答 ④

【解説】

正解は④「…と同じくらい～」です。これは等しい比較をするための構文です。二つの as の間に形容詞や副詞を置きます。例文は「彼は彼のお父さんと同じくらいの背の高さです」という意味です。①は比較級（-er than）、②は最上級（the -est）です。

◆補足：否定形は not as ～ as…または not so ～ as…で、「…ほど～ではない」を意味します。例：「I'm not as tall as you.」（私はあなたほど背が高くありません）。

16.

解答 ①

【解説】

正解は①「どういたしまして。」です。「You're welcome.」は、誰かから「ありがとう（Thank you.）」と言われたときに使う、最も丁寧で一般的な返事の表現です。②の「ようこそ。」は、例えば「Welcome to Japan.」（日本へようこそ）のように、誰かを歓迎するときに使います。③「また会いましょう。」は「See you again.」などと言います。④「お気の毒に。」は、相手に何か悪いことがあった時に同情を示す表現で、「I'm sorry to hear that.」などが一般的です。

◆補足：「どういたしまして」の他の表現として、「Not at all.」や「Don't mention it.」などもあります。これらも覚えておくと、表現の幅が広がりますよ。「You're welcome.」が一番フォーマルで、どんな場面でも使える基本の形です。

17.

解答 ①

【解説】

正解は①「バンド、楽団」です。band は、音楽を演奏するグループのことで、特にポピュラー音楽やジャズの楽団を指すことが多いです。日本語の「バンド」と全く同じ感覚で使えます。I want to join a

brass band. (私は吹奏楽団に入りたいです) のように使います。②「踊り」は **dance**、③「劇」は **play** や **drama**、④「合唱」は **chorus** が適切な単語です。

◆補足：band には「ひも、帯」という意味もあります。例えば、髪を結ぶゴムは **a hair band**、輪ゴムは **a rubber band** と言います。音楽のバンドなのか、ひものことなのかは、文脈から判断するようにしましょう。

18.

解答 ①

【解説】

正解は①「全体の、すべての」という意味の形容詞です。「I ate the whole cake by myself.」(私は一人でそのケーキを全部食べた)。(2)「穴」は別の単語 **hole** で、同じ発音です。(3)「半分の」は **half**、(4)「健康な」は **healthy** です。

◆補足：**whole** は通常、単数可算名詞(例：**the whole day**)と共に使われ、**a/an** または **the** の後に置かれます。**all** は複数名詞(例：**all the days**)と共に使われます。

19.

解答 ①

【解説】

正解は①「**clear**」です。「**clear**」には多くの意味がありますが、天気について使うと「(雲などがなく) 晴れ渡った、澄んだ」という意味になります。「The sky is clear today.」(今日は空が晴れ渡っている)。(2)「**clean**」は「きれいな、清潔な」、(3)「**close**」は「近い」、(4)「**cool**」は「涼しい」という意味です。

◆補足：**clear** には「はっきりした、分かりやすい」という意味もあります。例：**His explanation was very clear.** (彼の説明はとても分かりやすかった。)

20.

解答 ③

【解説】

正解は③「**jogging**」です。(1)「**walking**」は歩くこと、(2)「**running**」はより一般的な「走ること」で、ジョギングよりも速いスピードを指すことが多いです。(4)「**swimming**」は水泳です。

◆補足：動詞の形は **to jog** です。例えば、「I jog in the park every morning.」(私は毎朝公園でジョギングをします) のように使います。

21.

解答 ②

【解説】

正解は②「しばらくして」です。「while」は「しばらくの時間」という意味の名詞で、「after a while」で「少し時間経ってから、しばらくすると」という意味の副詞句になります。「After a while, he came back.」（しばらくして、彼は戻ってきた）のように文の頭や後ろに置かれます。①「すぐに」は soon や right away、③「ついさっき」は a little while ago が近い表現です。

◆補足：「for a while」は「しばらくの間」という期間の長さを表します。「after a while」は「しばらく経った後」という時点を表します。この違いを理解しておきましょう。

22.

解答 ②

【解説】

正解は②「休憩する」です。「take a break」と非常に似ています。例えば、「I'm tired, so I'm going to take a rest.」（疲れたので、休憩します）のように使います。①「散歩する」は take a walk、③「風呂に入る」は take a bath、④「写真を撮る」は take a picture です。

◆補足：名詞の rest は「休憩」や「休み」を意味します。「You need to get some rest.」（少し休養をとる必要がありますよ）。

23.

解答 ②

【解説】

正解は②「～はいかがですか。」です。「Would you like ～?」は、相手に何かを勧めたり、相手の意向を丁寧に尋ねたりするときに使う、とても丁寧な表現です。お店の人がお客さんに使ったり、人の家を訪ねたときなどに使われます。①「～が好きですか。」と好みを尋ねる場合は “Do you like ～?” を使います。③「～してもよろしいですか。」と許可を求めるなら “May I ～?”、④「～しましょうか。」と提案するなら “Shall I/we ～?” が適切です。

◆補足：「Would you like ～?」と聞かれたら、欲しい場合は「Yes, please.」、いらない場合は「No, thank you.」と答えるのが丁寧です。また、「Would you like to do ～?」の形で「～しませんか。」と行動に誘うこともできます。例：Would you like to play tennis with us?（私たちとテニスを楽しみますか？）

24.

解答 ④

【解説】

正解は④「hour」です。「The movie is about two hours long.」（その映画は約2時間の長さです）のように使います。①「minute」は「分」、②「second」は「秒」、③「moment」は「瞬間」を意味します。

◆補足：hour はスペルの最初の h を発音しない黙字です。「アワー」のように発音します。そのため、an hour のように、冠詞は a ではなく an がつくので注意しましょう。

25.

解答 ①

【解説】

正解は①「～した最初の人」です。to do の部分は不定詞で、形容詞のように機能し、人物を修飾します。例えば、「He was the first person to walk on the moon.」（彼は月面を歩いた最初の人物でした）。

◆補足：序数を変えることができます：「the second person to do」（～した2番目の人）、「the third person to do」（～した3番目の人）など。また、名詞も変えられます：「the first thing to do」（最初にすべきこと）。

26.

解答 ③

【解説】

正解は③「～の世話をする、～の面倒を見る」です。「She takes care of her little brother.」（彼女は弟の面倒を見ています）のように使います。①「～に気をつける」は be careful of、②「～の写真を撮る」は take a picture of で表現します。④「～を大事にする」は cherish や value などの単語があります。

◆補足：別れの挨拶で言う「Take care!」は「気をつけてね!」「お元気で!」という意味になります。これは「Take care of yourself.」を短くした形です。また、「take care of ～」は「(仕事などを)引き受ける、処理する」という意味で使われることもあります。

27.

解答 ①

【解説】

正解は①「have a chance to do」です。「I hope I have a chance to visit Kyoto again.」（また京都を訪れる機会があればいいなと思います）。②have a choice to do は～する選択肢がある、③have a change to do は文法的に不正確、④have a charge to do は～する責任がある、という意味です。

◆補足：chance は「機会」または「可能性」を意味します。この文脈では opportunity が同義語です。

28.

解答 ③

【解説】

正解は③「weekend」です。「week」（週）と「end」（終わり）が合わさった単語で、「週末」、つまり土曜日と日曜日のことを指します。「What did you do last weekend?」（先週末は何をしましたか？）

①「weekday」は「平日」（月～金曜日）で、反対の言葉です。②「holiday」は「祝日」、④

「vacation」は学校や会社の比較的長い「休暇」を指します。

◆補足：「週末に」と言いたいときは、on the weekend（米英語）や at the weekend（英英語）のように前置詞を使います。

29.

解答 ②

【解説】

正解は②「newspaper」です。「I read the newspaper every morning.」（私は毎朝新聞を読みます）。

①「magazine」は雑誌、③「textbook」は教科書、④「notebook」はノートです。

◆補足：新聞社で働く人は journalist や reporter です。新聞社はしばしば the press と呼ばれます。

30.

解答 ④

【解説】

正解は④の back で、体の部分としての「背中」や、物の「後ろ、裏側」を意味する名詞です。I have a pain in my back.（背中が痛い）のように使います。他の選択肢は、①face が「顔」、②hand が「手」、③foot が「足」と、それぞれ体の異なる部位を指します。

◆補足：back は「後ろへ」という意味の副詞としても非常によく使われます。go back（戻る）、look back（振り返る）など、多くの動詞と組み合わさって重要な熟語を作ります。名詞と副詞、両方の使い方に慣れておきましょう。

31.

解答 ④

【解説】

正解は④「do one's best」です。one's の部分には、my, your, his などの所有格が入ります。「I'll do my best.」（私は最善を尽くします。）①は「良い仕事をする」、②は「頼みを聞いてあげる」、③は「調査をする」という意味です。

◆補足：相手を励ますときに「Do your best!」（がんばって！）とすることができます。これは日本の「がんばれ」に最も近い表現の一つです。

32.

解答 ①

【解説】

正解は①「～を意味する、～のつもりで言う」です。「What does this word mean?」（この単語はどういう意味ですか？）。また、「I didn't mean to hurt you.」（あなたを傷つけるつもりはありませんでした）のように、「意図する」という意味もあります。②「～を会う」は meet、③「～をきれいにする」は clean、④「～を溶かす」は melt です。

◆補足：過去形と過去分詞形は meant です。名詞形は meaning（意味）です。

33.

解答 ④

【解説】

正解は④「簡単な、単純な」です。The rules of this game are very simple.（このゲームのルールはとても簡単です）のように使います。①「難しい」は difficult、②「複雑な」は complex で、これらは simple の反対の意味を持つ言葉です。③「正しい」は correct です。

◆補足：simple の副詞形は simply で、「単に、簡単に」という意味になります。I simply followed his advice.（私は単に彼のアドバイスに従っただけだ）。名詞形は simplicity（単純さ、簡素）です。

34.

解答 ③

【解説】

正解は③「公共の、公衆の」です。a public park（公園）や public transportation（公共交通機関）のように、他の名詞を修飾します。④「個人の、私的な」を意味する private は、public の正反対の言葉です。①「人気のある」は popular、②「特別な」は special です。

◆補足：public は名詞として「一般の人々、大衆」という意味もあります。また、in public という形で「人前で、公の場で」という熟語としてもよく使われます。He doesn't like speaking in public.（彼は人前で話すのが好きではありません）。

35.

解答 ②

【解説】

正解は②「服、衣類」です。常に複数形で使われ、a clothe のようには言えないのが大きなポイントです。①「布」は、s のつかない cloth という単語です。③「閉じる」は動詞の close、④「雲」は clouds です。

◆補足：「服を着る」は put on clothes、「服を脱ぐ」は take off clothes、「着替える」は change clothes と言います。

36.

解答 ②

【解説】

正解は②「どうしたのですか？」です。「何か悪いことでもあったの？」というニュアンスです。①「これは何ですか？」は What's this?、③「お元気ですか？」は How are you?、④「何時ですか？」は What time is it?です。

◆補足：wrong は「間違った、調子が悪い」という意味の形容詞です。What's wrong with you?や What's the matter?も「どうしたのですか？」と尋ねる同じような表現です。返事をするときは、I have a headache. (頭が痛いんです) のように、具体的な症状や問題を伝えます。

37.

解答 ④

【解説】

正解は④「危険な」です。「It is dangerous to swim in this river.」(この川で泳ぐのは危険です)。①「親切な」は kind、②「有名な」は famous、③「真面目な」は serious です。

◆補足：反対語は safe (安全な) です。名詞形は danger (危険) です。

38.

解答 ②

【解説】

正解は②「～を選ぶ」です。You have to choose between these two. (あなたはこの2つのうちから選ばなければなりません) のように使います。①「～を変える」は change、③「～を閉じる」は close、④「～をきれいにする」は clean です。

◆補足：choose は不規則動詞で、choose - chose - chosen と活用します。過去形は chose、過去分詞は chosen です。発音も変わるので注意しましょう。I chose this dress. (私はこのドレスを選んだ)。
名詞形は choice (選択) です。

39.

解答 ④

【解説】

正解は④「a few」です。「少数の」という意味で、数えられる名詞の複数形の前につきます。「I have a few questions.」（いくつか質問があります）のように使います。重要なのは、a があることで「少しはある」という肯定的な意味になる点です。②の few は a がなく、「ほとんど～ない」という否定的な意味になります。①の a little は数えられない名詞に使います。③some は a few よりは少し多いイメージです。

◆補足：a few（数えられる）と a little（数えられない）の使い分けは英語の基本ルールです。a few friends（数人の友達）、a little money（少しのお金）のように、後ろに来る名詞に注意しましょう。

40.

解答 ④

【解説】

正解は④「steal」です。「Someone stole my wallet.」（誰かが私の財布を盗んだ）。①「steel」は金属の一種、鋼鉄、②「still」はまだという意味の副詞、③「seat」は席です。

◆補足：過去形は stole、過去分詞形は stolen です。

41.

解答 ④

【解説】

正解は④「hometown」です。「home」（家、家庭）と「town」（町）が組み合わさった単語で、自分が生まれ育った町や都市、つまり「故郷」や「地元」を指します。「Sapporo is my hometown.」（札幌は私の故郷です）のように使います。①「downtown」は商業施設などが集まる「中心街」、②「country」は「国」や「田舎」、③「capital」は「首都」を意味します。

◆補足：「故郷」を表す別の言い方として「birthplace」（出生地）もありますが、「hometown」の方が、実際に育った場所というニュアンスが強く、より一般的に使われます。

42.

解答 ③

【解説】

正解は③「～として」で、前置詞です。例文は「彼は医者として働いています」という意味です。①は about、②は for、④は with です。

◆補足：as には他の多くの意味があります。接続詞として、「～のとき」(as I was walking)、「～なので」(as it was late)、「～のように」(do as I say) を意味することがあります。

43.

解答 ①

【解説】

正解は①「カボチャ」です。日本語でも「パンプキン」としておなじみですね。特にハロウィーンの際に、顔の形にくりぬいて作る「ジャック・オー・ランタン (Jack-o'-lantern)」で有名です。②「ジャガイモ」は potato、③「タマネギ」は onion、④「ニンジン」は carrot です。これらは食卓によく登場する野菜なので、セットで覚えておくくと便利です。

◆補足：料理では、カボチャのスープ (pumpkin soup) やカボチャのパイ (pumpkin pie) などが人気です。欧米で一般的に「pumpkin」というとオレンジ色の大きなものを指しますが、日本でよく食べられる緑色のカボチャも含まれます。

44.

解答 ③

【解説】

正解は③「～の一員、～のメンバー」です。名詞「member」は、グループや組織に属する人を意味し、a member of ～でどのグループに属しているかを特定します。例えば、「I am a member of the tennis club.」(私はテニス部の一員です)。①「～の指導者」は the leader of、②「～の訪問者」は a visitor to、④「～の記憶」は a memory of です。

◆補足：メンバー全体の集まりは membership と呼ばれます。

45.

解答 ②

【解説】

正解は②「子犬」です。成長した犬は dog です。 「I saw a cute puppy at the park.」(公園でかわいい子犬を見ました。) ①「子猫」は kitten、③「人形」は doll、④「ポピー」は poppy と言います。

◆補足：複数形は puppies と、y を i に変えて es をつけます。

46.

解答 ③

【解説】

正解は③「shopper」です。「買い物をする」という動詞「shop」に「～する人」を表す -er がついた形で、「買い物客」を意味します。「The mall was full of shoppers.」（そのモールは買い物客でいっぱいでした。）①「customer」はより広く「顧客、お客さん」を指します。②「seller」は「売り手」、④「owner」は「所有者」です。

◆補足：「買い物に行く」は go shopping と言います。この-ing は動名詞ですね。

47.

解答 ④

【解説】

正解は④「一緒に、共に」です。副詞の「together」は、複数の人や物が「一緒に」何かをしたり、同じ場所にいたりすることを表します。「Let's study together.」（一緒に勉強しよう）のように、動作を表す動詞と一緒によく使われます。①「別々に」は separately、②「一人で」は alone が近い表現です。③「特に」は especially と言います。

◆補足：「all together」で「全部一緒に、合計で」という意味を強調することができます。また、「get together」で「集まる」という意味の熟語になります。例：My family gets together on New Year's Day.（私の家族は元旦に集まります。）

48.

解答 ②

【解説】

正解は②「お買い得品、掘り出し物」です。「bargain」は、実際の価値よりも安い価格で買うもののことです。例えば、「This coat was a real bargain at 3,000 yen.」（このコートは 3000 円で本当にお買い得だった）。①「手荷物」は baggage、③「障害物」は barrier や obstacle です。

◆補足：動詞として、bargain は「交渉する」を意味します。例：「I bargained with the seller over the price.」（私は売り手と価格について交渉した。）

49.

解答 ③

【解説】

正解は③「～歳の時に」です。「She started playing the piano at the age of five.」（彼女は 5 歳の時にピアノを弾き始めました）。①「～の時代に」は in the age of、②は at page、④は on the stage of です。

◆補足：単に「when she was five」と言うこともできますが、at the age of five はよりフォーマルな言い方です。

50.

解答 ①

【解説】

正解は①「壊れた、故障した」です。「broken」は、動詞「break」（壊す）の過去分詞形で、形容詞として「壊れている」という状態を表します。「My watch is broken.」（私の腕時計は壊れています）のように使います。②「開いた」は open、③「閉じた」は closed、④「新しい」は new です。

◆補足：「a broken window」（割れた窓）や「a broken heart」（失恋、傷心）のように、名詞を修飾する形でもよく使われます。「heartbroken」で「悲嘆に暮れた」という一つの形容詞にもなります。
